

| | | |
|------|------------------|------|
| 総合 | 徹底監視でウイグル弾圧 | 2・4面 |
| 暮らし | リボン引きこもった彼の歩み | 9面 |
| スポーツ | 新たな聖地 新国立競技場 | 19面 |
| 社会 | 被災と受験 悩む高3 | 26面 |
| 社説 | GSOMIA継続/米下院弾劾調査 | 5面 |

| | |
|--------|-------------|
| 東信 | リンゴの収穫楽しむ |
| 北信 | 住民の「つながり」保つ |
| 中信 | 女鳥羽川河川敷で催し |
| 南信 | 飯田線開通を紙芝居に |
| ふしんフォト | 音を見る 鍛刀道場 |

地域ニュース22-25面

栄村から駆け付け、泥を片付けるボランティア。24日午後2時6分、長野市津野



被災 経験したからこそ

県北部地震の栄村から 水害の長野へボランティア

2011年の県北部地震で被害を受けた下水内郡栄村の住民6人が24日、台風19号被災地の長野市津野で、泥かきなどの作業を手伝った。震災時に避難所や仮設住宅で暮らした経験のある人も参加。多くの人に支えてもらった恩返しをしたいと被災者の境遇を思いながら汗を流した。

「力を入れないと駄目だね」。千曲川の堤防決壊現場に近い住宅で、6人がスコップで泥をすくった。2人1組で、泥を掘って土のう袋に詰める作業を繰り返した。月岡みどりさん(47)は長男で高校2年の虎太郎さん(17)と参加。重さ20kgほどの土のう袋を抱えて運び「普段、事務仕事だから腰と腕にきまずね。こういう時こそ助け合いたと思う」と汗を拭いた。

今回の台風で村内では住宅4軒などで浸水被害があった。復旧作業は地元住民や消防団で支え合い、村社会福祉協議会の呼び掛けで飯山市や

長野市での被災地支援も続けられてきた。長野市への応援は10月下旬に続いて2回目。今回は11月22日から3日間、計15人がボランティアに参加した。

県北部地震で自宅が半壊した女性(47)は、自宅の片付けなどで、たくさんの人に助け

てもらったことで「恩を少しでも返したいと思ってきた」と、高校3年の次女(17)と参加。「地震の時も大変だったけれど、今回の台風の水害は、重い泥を片付けるのがとても大変」と話した。

台風19号の災害から1カ月半近く。冬の足音も聞こえてくる。女性は震災で避難所や仮設住宅での生活を経験しており「本格的に寒くなる前に落ち着いて暮らせるようになってほしい」と願った。

作業は午後2時半ごろ終了。「助かりました」と住民からねぎらわれた。復興にはまだまだ時間がかかる。6人は爪痕が残る被災地を見つめながら帰路に就いた。

(森優斗、園田清佳)



長野で農政懇談会

水害の農業復旧 国会議員に要望

北信の農業委員長

北信地域の15市町村の農業委員長と県選出国會議員6人による「農政懇談会」は24日、長野市内で開いた。10月の台風19号による農業被害を受け、農業委の会長からは復旧へ向けた支援策の拡充などを求める声が相次いだ。

千曲川の決壊で、大規模な水害が発生した長野市の小島

誠会長は「被災農家の経営打

撃や営農意欲の低下により、離農や被災農地の放棄が危惧される」と指摘。「営農再開

へ向け、よりきめ細やかな対

策を講じてほしい」と求めた。

中野市の清野信之会長は、堤

防より河川側の「堤外地」に

ある農地について、台風19号

による浸水などで「もう借り

手が付かない。遊水地などと

して国が買い上げてほしい」と

訴えた。

国会議員側は支援について

「与野党超えてサポートして

いきたい」などと応えた。

懇談会は北信地域の農業委

員会をつくる長野、須高地区、

北信州の各農業委員会協議会

が共同で年1回開催。農業委

側からはこの日、野生鳥獣被

害対策や新規就農者支援のた

めの予算確保などを求める要

望も出た。

台風19号による農業被害の復

旧支援などを求める声が相次

いだ農政懇談会＝24日、長野

市